

松江市 報道提供資料

令和7年7月9日

件名 松江歴史館館蔵品展「長崎家の簾細工ー松江でつづく丁寧な仕事ー」の開催について

内容 松江藩の簾細工は、文政期(1818～1829)頃にはすでに下級武士が内職として煙管入を製作していたと伝えられています。現代に簾細工の技法を伝える長崎家の簾細工は、江戸時代末期、松江藩の料理方であった長崎仲蔵が、江戸にある松江藩下屋敷で簾細工を作ったことが始まりとされています。本展は、初代長崎仲蔵から現在に活躍する六代長崎誠氏とその技術を受継ぐ方々の作品を展示し、江戸時代から松江で作られ続けてきた簾細工の一端をご紹介します。

会 期 令和7年(2025)7月18日(金)～9月15日(月・祝)

毎週月曜休館(祝日の場合は翌平日) ※8月12日(火)は開館

会 場 松江歴史館 企画展示室

開館時間 9:00～17:00 ※観覧受付は16:30まで

【オープニング式典】

7月18日(金)9:00から、松江歴史館企画展示室前にてオープニング式典を開催します。

8:30受付開始。8:30～9:00は松江歴史館北門(職員通用口)から入場してください。(別紙参照)

【注目点】

- ◆長崎家初代から6代・長崎誠まで歴代の作品が一堂に会する。
- ◆約30年前に松江市に寄贈いただいた80点にも及ぶ松江藩簾細工を一挙にご覧いただけます。
- ◆長崎誠の弟子で、これからの、松江藩簾細工を支える角宏子・川口淳平・藤田真理・山野孝弘の作品も紹介。

【問い合わせ】

文化スポーツ部 松江歴史館 担当：大多和 電話：0852-55-5511

【松江歴史館】館蔵品展
「長崎家の藤細工ー松江でつづく丁寧な仕事ー」
オープニング式典のご案内

- 1 日時 令和7年(2025)7月18日(金)
9:00～ 9:15 オープニング式典
9:15～10:00 ギャラリートーク
- 2 受付 松江歴史館 玄関ホール(松江市殿町279番地)
8:30 受付開始
- 3 問合せ先 TEL 0852-55-5511 ※事前申込みは不要です。
- 4 会場入口 8:30から9:00までの間は、**松江歴史館 北門**からお入りください。
詳細は下図をご参照ください。
- 5 駐車場 松江歴史館の専用駐車場(北堀橋南詰東側)は来賓が使用するために
空いていない場合があります。
使用状況については、7/16(水)17:00までにお問合せください。



松江城側（正門）からは入れません。
北門から敷地内へお入りください。
正面玄関まで係員がご案内します。
※敷地内に駐車場はありません。

担当者:松江歴史館 大多和
TEL0852-55-55111

館蔵品展 **長崎家の藤細工** —松江でつづく丁寧な仕事—

【会期】 2025 年 7 月 18 日(金)～9 月15 日(月・祝)

【会場】 松江歴史館 企画展示室

松江藩の藤細工は、文政期(1818～1829)頃にはすでに下級武士が内職として煙管入を製作していたと伝えられています。現代に藤細工の技法を伝える長崎家の藤細工は、江戸時代末期、松江藩の料理方であった長崎仲蔵が、江戸の松江藩下屋敷で藤細工を作ったことが始まりとされています。2代福太郎が長崎家の秘伝の技とされる六弁の花模様が並んだ編み方「花結び」を考案するなど、各代で時代に合わせた藤細工を多く作り続けてきました。

松江藩に伝わる藤細工の技術は、6代長崎誠氏が「松江藩藤細工」として平成 16 年(2004)3 月 31 日に島根県ふるさと工芸品の指定を受け、さらに長崎誠氏の弟子である8代川口淳平氏は令和 6 年(2024)に「松江藩藤細工」として鳥取県伝統工芸士に認定され、現代にもその技を伝えています。本展は、初代長崎仲蔵から現在活躍する長崎誠氏、角宏子氏、川口淳平氏らの作品を展示し、江戸時代から松江で作られ続けてきた藤細工の一端をご紹介します。



3代 森山千代市作
《花結編籠》(当館蔵)



初代 長崎仲蔵作
《極細一染編煙管入》(当館蔵)



2代 長崎福太郎作
《石畳編炭斗》(当館蔵)

みどころ

①長崎家初代から6代・長崎誠まで
歴代の作品が一堂に会する！

松江の伝統工芸である松江藩藤細工。江戸時代末期の初代から6代・長崎誠まで歴代の技を間近に見ていただけます。

②松江歴史館所蔵の藤細工、
一挙公開！

約 30 年前に松江市に寄贈いただいた 80 点に及ぶ松江藩藤細工を一挙にご覧いただけるまたとない機会です。

③松江藩藤細工の次世代、

長崎誠の弟子で、これからの松江藩藤細工を支える角宏子・川口淳平・藤田真理・山野孝弘の作品も紹介。

「6 代の弟子たち」の作品も！

松江で 150 年続けられてきた丁寧な手仕事。
長い年月の中で人々の暮らしも時代とともに変わっていきます。
各代の籐細工からは、そんな移り変わる時代も感じられます。



①

① 4代 森山誠一作「弦付色違一楽編果物籠」(当館蔵)

② 5代 長崎藤吉作「土瓶敷」(当館蔵)

③ 6代 長崎誠作「花結編クラッチバッグ」(当館蔵)



②



③

出品数・全 96 点。
会期中には、イベントも開催予定です。
くわしくは松江歴史館ホームページにて
随時お知らせいたします。

6 代 長崎誠氏



【開館時間】9:00～17:00(展示室への入場は16:30まで)

【休 館 日】毎週月曜日、祝日は開館し翌平日が休館。ただし 8 月 12 日(火)は開館。

【主 催】松江歴史館 (ホームページ:<https://matsu-reki.jp/>)

【問い合わせ】〒690-0887 島根県松江市殿町 279 番地

TEL:0852-32-1607(代表) 0852-55-5511(学芸直通)

FAX:0852-32-1611 E-mail:rekishi@city.matsue.lg.jp

展示担当:大多和(おおたわ)、的野(まとの) 広報画像提供等担当:大多和(おおたわ)、武田(たけだ)

-館蔵品展-

長崎家



松江でつづく

2025

7/18 金

9/15 月・祝

藤簾 細工

丁寧な仕事

Rattanwork of the
Nagasaki Family



4



5

- 1 土瓶敷 五代長崎藤吉作
- 2 花結編クラッチバッグ 六代長崎誠作
- 3 極細一糸編煙管入 初代長崎仲蔵作
- 4 石畳編炭斗 二代長崎福太郎作
- 5 弦付色違一糸編果物籠 四代森山誠一作
- 6 花結編籠 三代森山千代市作

[主催]松江歴史館

[後援] 島根県、島根県教育委員会、朝日新聞松江総局、産経新聞社、日本経済新聞社松江支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、山陰中央新報社、中国新聞社、島根日日新聞社、新日本海新聞社、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、NHK松江放送局、TSKさんいん中央テレビ、BSS山陰放送、日本海テレビ、山陰ケーブルビジョン、エフエム山陰

最新の情報は

Facebook | X | Instagram、
または松江歴史館ホーム
ページでご確認ください



公式サイト

江戸時代から現代まで、
時代を結ぶ作品を一挙公開!



6

松江歴史館 企画展示室

開催時間 9時～17時(観覧受付は16時30分まで)

※オープニング式典のため、7月18日(金)のみ展示室は9時30分開場

休館日 月曜日 ※祝日の場合は翌平日、ただし8月12日(火)は開館

観覧料 「大人」480円(380円)、「松江市民」240円

「小・中学生」無料

※(一)内は20名以上の団体料金 ※高校・大学・専門学校に通う学生は学生証の提示で団体料金

※基本展示室とのセット券の料金は大人830円(660円)

※市民料金の適用を受けるには、運転免許証・マイナンバーカードなど、現住所が確認できるものを受付で提示



松江市立
松江歴史館

〒690-0887 島根県松江市殿町279番地
TEL 0852-32-1607 FAX 0852-32-1611

-館蔵品展-

長崎家 の 蔦 細工

松江でつづく
丁寧な仕事

松江藩の藤細工は、江戸時代後期の文政年間(1818~1829)には作られ始め、下級武士が内職として煙管入を製作していたと伝えられています。一方で、江戸時代末期、松江藩の料理方であった長崎仲蔵が藤細工を始めました。この江戸時代の技法を現代に伝えるのが長崎家です。長崎家では二代福太郎が六弁の花模様が並んだ編み方「花結び」を考案するなど、伝統を守りながらも各代で時代に合わせた藤細工を作り続けてきました。

六代長崎誠氏が持つ「松江藩藤細工」の技術は、平成16年(2004)3月31日に鳥根県ふるさと伝統工芸品の指定を受けました。さらに長崎誠氏の弟子である八代川口淳平氏は令和5年度に「松江藩藤細工」として鳥根県伝統工芸士に認定され、現代にその技を伝えています。本展は、初代長崎仲蔵から現在活躍する長崎誠氏とその技術を受け継ぐ方々の作品を紹介します。



石畳編霞野立籠
初代長崎仲蔵作



一楽編花生
五代長崎藤吉作



六代長崎誠氏



筑編炭斗 二代長崎福太郎作

EVENT

記念対談

7月27日(日) 10:30~12:00

会場: 松江歴史館 歴史の指南所

講師: 長崎誠氏(松江藩藤細工六代)、川口淳平氏(同八代)

申込先: 松江歴史館 TEL.0852-32-1607(9:00~17:00、休館日除く)

※館蔵品展観覧券または年間パスポートが必要です

定員
60名
先着順

無料
要申込

藤細工でコースターor籠作り

7月27日(日) 13:30~15:30

会場: 松江歴史館 歴史の指南所

参加費: 1,200円

申込先: 松江歴史館 TEL.0852-32-1607(9:00~17:00、休館日除く)

※小学生以下は保護者が同伴してください

定員
15名
先着順

有料
要申込

ギャラリートーク 展示担当者による展示解説

7月19日(土)、8月10日(日)、8月27日(水)、9月15日(月・祝) 各日14:00~15:00

会場: 企画展示室

※館蔵品展観覧券または年間パスポートが必要です

申込不要

ACCESS

市内交通バス

◎ぐるっと松江レイクライン

JR松江駅より13分

「大手前堀川遊覧船乗場・歴史館前」下車徒歩3分

◎一般路線バス

JR松江駅より9分「県民会館前」下車徒歩5分

JR松江駅より15分「塩見縄手」下車徒歩1分

自動車

◎山陰道(松江西ICから県庁・松江城方面10分)

◎松江歴史館専用駐車場あり(徒歩1分、12台、無料)

◎当館敷地内におもいやり駐車場あり

飛行機

◎出雲空港へ

東京(羽田)90分/大阪(伊丹)60分/福岡70分

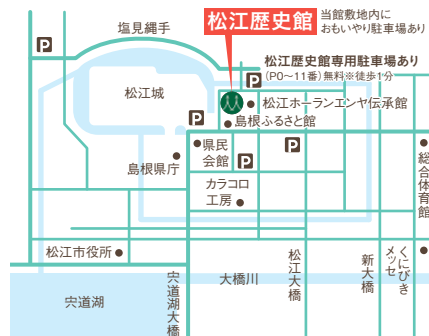
名古屋(小牧・中部国際)70分/静岡90分

◎米子空港へ

東京(羽田)80分

※各空港よりJR松江駅まで連絡バスが運行しております。

出雲空港(35分)/米子空港(45分)



松江市立

松江歴史館

〒690-0887 鳥根県松江市殿町279番地
TEL.0852-32-1607 FAX.0852-32-1611

最新の情報はFacebook、Instagram、または
松江歴史館ホームページでご確認ください



公式サイトは
こちらから
<https://matsu-reki.jp/>